

代々木病院の理念

ヒューマニズムにもとづく医療・介護の実践

糖尿病特集号 第1弾

くらしと健康

発行 医療法人財団 東京勤労者医療会 1部60円

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷1-30-7

TEL (3404)7661

E-mail address yo_sosiki@tokyo-kinikai.com

友の会会員は会費に購読料がふくまれています。

糖尿病医療

43年間チーム医療を実践



スタッフ会議

国内では、糖尿病と糖尿病予備軍をあわせると2210万人いると言われ、10年前と比べ1.5倍に増えています。糖尿病人口の増加を受けて代々木病院でも糖尿病外来の拡充を進めています。大山晃弘医師に話を聞きました。

医師、看護師、栄養士が問題を共有し治療



糖尿病外来は今も昔もチームで活動中

糖尿病は自覚症状なく全身の血管を痛め、脳卒中や腎不全、失明などさまざまな全身合併症を引き起こす疾患です。過食や運動不足、喫煙などといった生活習慣との関連が深く、糖尿病の治療にはその見直しが必要で、しかし医師の眼だけでは、患者さんの生活全体を把握し、適切なアドバイスをするのは困難です。

約40年前に開設されて以来、糖尿病患者さんを中心とし、医師・看護師・栄養士が協力して診療するチーム医療を実践してきました。看護師は、体調や生活リズムに変化がなかったかの聴き取りはもとろんインスリン注射や、自己血糖測定の方法の指導やチェックなども行ないます。

栄養士による個別栄養指導は特に重要で、通り返りのやり方

の押しつけでなく、例えば仕事で外食が多い患者さんに對しては、「上手に外食をとるにはどうしたらよいか」といった実践的で実行可能な栄養指導を行なっています。

医師はこうして得られた情報をもとに患者さんとの問題を共有し、治療方針を決めていきます。

困難事例は チームで検討

糖尿病チームは定期的にカンファレンスを行っています。新規の患者さんや血糖コントロール不良、あるいは入院を中断している患者さんをピックアップして検討します。あらかじめチームで問題点を共有しておくことは、患者さんの実情に沿ったより細やかなアドバイスをする上で重要と考えています。

入院治療が 必要になったら

重症高血糖の方、肺炎や尿路感染を併発した場合などは、必要に

糖尿病チームは定期的

にカンファレンスを行

っています。新規の患

者さんや血糖コント

ロール不良、あるいは

入院を中断している患

重症高血糖の方、肺炎

や尿路感染を併発した

場合などは、必要に

入院治療が 必要にな

ったら

重症高血糖の方、肺炎

や尿路感染を併発した

場合などは、必要に

入院治療が 必要にな

ったら

重症高血糖の方、肺炎

や尿路感染を併発した

場合などは、必要に

入院治療が 必要にな

ったら

の押しつけでなく、例

えば仕事で外食が多い

患者さんに對しては、

「上手に外食をとるに

は どうしたらよいか」

といった実践的

で実行可能な栄養

指導を行なっています。

医師はこうして得

られた情報をもとに

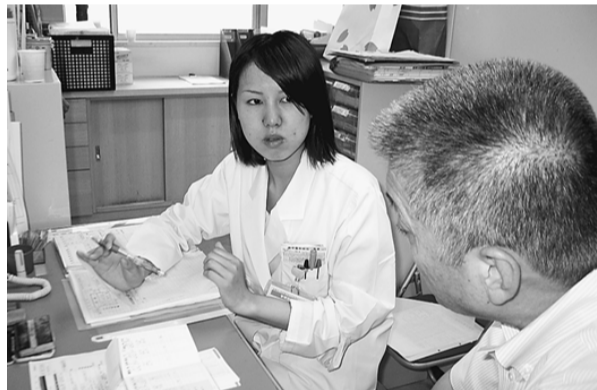
患者さんとの問題を

共有し、治療方針

を決めていきます。

困難事例は チーム

で検討



栄養指導中

43年前の糖尿病外

科は、新患の糖尿病

の方に教育入院をし

て医師や栄養士の講

義を受けてもらいま

した。看護師も患者

さんと同じく、開

設以来、患者さんと

向きあ

って

症、糖尿病神経障害

で、糖尿病網膜症は

失明の原因として第

1位で、糖尿病診断

時より定期的な眼科

での検査が必要で

す。糖尿病網膜症

は失明の原因として

第1位で、糖尿病診

断時より定期的な眼

健康まつり2010

入場無料

▲日時 10月3日(日)小雨決行

午前10時~午後1時

▲場所 代々木病院

▲企画 体力・健康測定、健康・介護・お薬相談、健康講座、歯科コーナー、文化行事、包丁とまな板とぎ、展示コーナー、各種模擬店、くじ引きなど予定(内容は当日、多少の変更、追加があります)

▲主催 健康まつり実行委員会

糖尿病外来を 受診するには 予約診療になってお

せ下さい。

の質を下げます。血

糖コントロールを良

好に保つことが大切

です。他

院からおいでになる

場合は、紹介状を持

た方がよいので、

必要に応じて御紹介

し

下さい。

が、高齢化や仕事で

時間が取れないなど

思ふような活動がで

きない様です。

新たに迎えた大山

医師と山本医師は、

やる気まん

まんの頼

る若手中堅

医師で糖尿

病に積極的

に関わっています。

手術台

この夏、水やお茶の入ったペットボトルを持ち歩く習慣が身についてしまっ

た人は多いのではあるまいか。メディアが競って熱中症対策に水分補給を！とや

っている。この習慣は多くの日本人に以後、定着するだ

ろう▼子供の日々、日本では水はタダだった。中学生のとき、

浅間の「鬼の押し出し」で「水を売っている」のを見て仰天

したものである。いくら深層水、名水と名付けようと、中身

は所詮、水。それなのに、どんな安い銘柄でもレギュラー・

ガソリンより高いのである。あれだけ遠くから運び、精製する

ガソリンより高い水を飲んでる▼何かおかしい!たしか

に上水道水はまずい。だが飲めば飲める。ところが外出

すると水を飲む場所が無い。街角から、駅から水道は消されて

しまっている▼その代わりにいたるところに自販機がある。

感じてある。メーカーは笑いが止まらないことだろう。ポ

トル一本50円以下になるはずである。そう

思いつつ毎日買っている。悔しい!(ま

ま)